

[\(http://www.turuga.org/\)](http://www.turuga.org/)

## 色ヶ浜

水島を望む美しい浜辺

ジャンル: 散策 景色 歴史・文化 所要時間: 10分程度



### 「小萩ちれますほの小貝 小盃」芭蕉が句を詠んだ地

敦賀湾に面したこの浜は水も美しいと評判で、砂の小島2つからなる水島を眺めることもできます。松尾芭蕉も船を仕立て色ヶ浜に渡り句を詠んでいます。芭蕉が休息した本隆寺には芭蕉の記文及び句碑が残されています。句碑には「小萩ちれますほの小貝 小盃」「衣着て 小貝拾わん いろの月」と刻まれています。

### 「おくのほそ道」から...

#### 原文

十六日、空霽たれば、ますほの小貝ひろはんと、種の浜に舟を走す。海上七里あり。天屋何某と云もの、破籠・小竹筒などこまやかにしたゝめさせ、僕あまた舟にとりのせて、追風時のまに吹着ぬ。浜はわづかなる海士の小家にて、侘しき法花寺あり。爰に茶を飲、酒をあたゝめて、夕ぐれのさびしさ、感に堪たり。

「寂しさや須磨にかちたる浜の秋」

「波の間や小貝にまじる萩の塵」

#### 現代語訳

元禄2年旧暦8月16日(現在の9月終わり頃)、空が晴れたので西行の歌にある「ますほの小貝」を拾おうと色ヶ浜へ海の上を7里ほど舟(※1)を走らせた。「天屋なんとか(※2)」という者が弁当や酒の入った竹筒を心細かに用意してくれ、多くの下人を舟に乗せて賑やかに出発し、追い風ですぐに色ヶ浜に着いた。着いた浜はわずかに漁師の小家があるだけの静かな場所で、侘しげな法華宗の寺(※3)があった。そこで茶を飲んだり酒を温めたりして過ごしたが、夕暮れの寂しさは格別心に迫るものがあった。

「この色ヶ浜の夕暮れは何と寂しいことか、源氏物語で有名な「須磨の浦の秋」のそれよりも勝っている」

「波打ち際の波の間をよく見ると、小貝に混じって赤い萩(※4)の花が塵のように散っている」

※1：当時、色ヶ浜は道が通じておらず、陸の孤島でした。そのため、色ヶ浜へ行くには船を利用する以外に手段がありませんでした。

- ※2：「天屋何某」は、敦賀の俳壇で活躍していた天屋五郎右衛門という回船問屋で、俳号を玄流と名乗っていました。蓬萊町の居宅跡には「おくのほそ道天屋玄流旧居跡」の標柱があります。
- ※3：「侘しき法花寺」である本隆寺には、「等哉に筆をとらせて寺に残す。」と記されている等哉の文書が残っています。
- ※4：萩は芭蕉の句にちなんで敦賀市の市花にも指定されています。

## 詳細

### 交通アクセス

 北陸自動車道・敦賀ICより 車で約30分

 JR敦賀駅より コミュニティバス「常宮線」で約30分「色ヶ浜」停留所下車 徒歩約3分



(<https://tsurugacity.vtfm.jp/>)

 JR敦賀駅より タクシーで約30分

### 所在地

福井県敦賀市色ヶ浜

### 電話

敦賀観光協会 0770-22-8167

敦賀観光案内所 0770-21-8686

## 一般社団法人 敦賀観光協会

所在地 〒914-0063 敦賀市神楽町2丁目2番4号 アクアトム1階

TEL. 0770-22-8167

FAX. 0770-22-8197

受付時間 【平日 8:30～17:15】

E-mail: [info@turuga.org](mailto:info@turuga.org) (<mailto:info@turuga.org>)

旅行業登録: 福井県3-182号

## 敦賀観光案内所

所在地 〒914-0055 敦賀市鉄輪町1丁目1番19号 敦賀駅交流施設【オルパーク】内

TEL. 0770-21-8686

受付時間 【年中無休 8:00～19:00】

Copyright© 2014 Tsuruga Tourism Association. All Right Reserved.